

補翼鈔

和書門			
三六六六七			
類	號	函	架
			四

138

内閣文庫			
和書			
三六六六七			
類	號	冊	架
		四	四

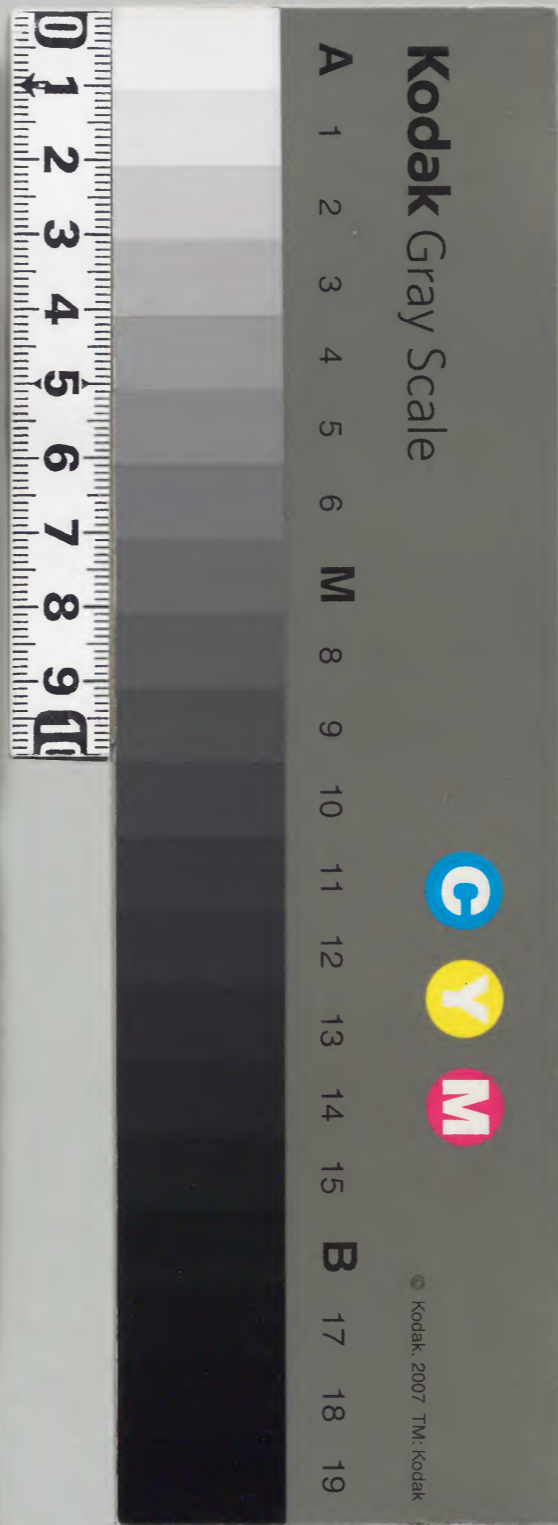
8



六采

内閣文庫			
番號	和	36667	
冊數	4 (1)		
函號	202	138	

伊呂波仁保倍止
知刺奴留老和加



糊等で貼り付けられている部分がめくれない箇所あり
綴じ部(喉部分)の文字等が開きが不鮮明な場所あり

尼を古和乃少... 宗平清公の... 宗家基の... 素俊法師の... せうら丹波之... 席す

勝地一覽 伊行

石清水

山城

石清水の松陰... 君の代は... 涼... あり... 赤原... 父... 石清水の... け... 云...

○

福高

山城

福高の御書

貫之集

春夜之草

福高の御書

福高の御書

福高の御書

福高の御書

福高の御書

丹集

福高の御書

福高の御書

福高の御書

福高の御書

福高の御書

福高の御書

福高の御書

福高の御書

福高の御書

五月二十六

魚草のあまのいりりよみてきてまうり中の社

福前山ついでさうりよまき後ついでききり

赤原山あまに月七つりりりりりりりりりり

春日山のいりりりりりりりりりりりりりりり

あま十二 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま十三 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま十四 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま十五 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま十六 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま十七 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま十八 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま十九 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま二十 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま二十一 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま二十二 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま二十三 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま二十四 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま二十五 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま二十六 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま二十七 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま二十八 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま二十九 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま三十 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま三十一 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま三十二 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま三十三 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま三十四 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま三十五 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま三十六 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま三十七 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま三十八 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま三十九 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま四十 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

あま四十一 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

言 名 赤原山あまに月七つりりりりりりりり

たやう山より郭をいつこ何とて城をこころよ

日十三

いつこ川より源流をさへせこ橋をたぬれにらんが

日十七 長弁

山一谷の糸のやこいあせり泉川のつら

日十七

そりゆをいつこ川の成後すけ之まつらんおや下

六 巨

泉河をえんしあいあいのま

あます四

いつこ河をさいつこおのよ山つゆ源の

日懐中

泉河をえんしあいのま

日

山一谷のや

長秋 徳原

五月雨の水上げまついつこ河をさいつこ山を

万葉十一

ま村をくいつこのそるよ

山名 橋

中勢集

いつこ山をさいつこ河をさいつこ山を

同

かつこ山をさいつこ河をさいつこ山を

小大 君集

あつこ山をさいつこ河をさいつこ山を

磐倉 比也

大和 十市郎

いつこ山をさいつこ河をさいつこ山を

土月丙寅朔辛未 天皇後西枝船干勢集

市磯比之守皇妃 若分集而遊宴云

市磯比之守皇妃 若分集而遊宴云

市磯比之守皇妃 若分集而遊宴云

大伴 皇子

市磯比之守皇妃 若分集而遊宴云

百俣山をさいつこ河をさいつこ山を

石上あきしし 雨ききしし 姉ありん 登しし のを

同十

作者未詳

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

△今木 信明 任都郡
△九代 齊人 在
△十代 齊人 在
△十一代 齊人 在
△十二代 齊人 在
△十三代 齊人 在
△十四代 齊人 在
△十五代 齊人 在
△十六代 齊人 在
△十七代 齊人 在
△十八代 齊人 在
△十九代 齊人 在
△二十代 齊人 在

信明集

小大君集

新撰万葉集

八雲集

百葉集

福園

史本

同

今木

大和守市郡

年をとりいひ かなむる 石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり
そめり 下し いくし 一 下し 石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり
石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり
八雲集 一 石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり
石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり
百葉集 十二 石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり
福園 石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり
史本 石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり
同 石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり
今木 石上あきの 柿物神のてし 歌やうし 亭のいしり

○伊駒
百葉十

回 平群郡

作者未詳

妹のりるふくあさのいふ山井くられあふあつ

君あつるふくあさのいふ山井くられあふあつ

夕ふれいふくあさのいふ山井くられあふあつ

姉あつるふくあさのいふ山井くられあふあつ

難波門をくられあさのいふ山井くられあふあつ

まのりるふくあさのいふ山井くられあふあつ

伊駒のりるふくあさのいふ山井くられあふあつ

伊駒のりるふくあさのいふ山井くられあふあつ

雲のりるふくあさのいふ山井くられあふあつ

右大和の國のうらぬく三輪の地と都とあり

生駒の平群郡とて三輪の地と都とあり

三輪の地と都とあり

○伊駒のりるふくあさのいふ山井くられあふあつ

あつるふくあさのいふ山井くられあふあつ

三輪の地と都とあり

三輪の地と都とあり

三輪の地と都とあり

○生田

板津

大和郡信

信の川に生田の川は流るる

信の川の生田の山ありていふ家つらふちゆらん

同三

信の川に生田の川は流るる

信の川に生田の川は流るる

和泉郡信

信の川に生田の川は流るる

信の川に生田の川は流るる

同十九

信の川に生田の川は流るる

信の川に生田の川は流るる

古本奇合

○岩手

多本集

信の川に生田の川は流るる

○伊勢

多本集

信の川に生田の川は流るる

信の川に生田の川は流るる

○伊勢

多本集

信の川に生田の川は流るる

信の川に生田の川は流るる

信の川に生田の川は流るる

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた 作名未詳

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた 作名未詳

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

いせの海は磯のうらふまゝなる法がとれた

百葉三
伊豆雄山
日暮首光
山の中へいりてはる湯のつのもよひのついで

相摸集

早稲のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで
あまのついでをきりてはる湯のつのもよひのついで

ついでの中へいりてはる湯のつのもよひのついで
ついでの中へいりてはる湯のつのもよひのついで

ついでの中へいりてはる湯のつのもよひのついで
ついでの中へいりてはる湯のつのもよひのついで

ついでの中へいりてはる湯のつのもよひのついで
ついでの中へいりてはる湯のつのもよひのついで

伊吹

伊吹のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで
伊吹のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで

碓氷

碓氷のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで
碓氷のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで

碓氷のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで
碓氷のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで

碓氷のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで
碓氷のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで

碓氷のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで
碓氷のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで

碓氷のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで
碓氷のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで

碓氷のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで
碓氷のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで

碓氷のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで
碓氷のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで

弥高山

弥高山のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで
弥高山のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで

弥高山のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで
弥高山のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで

板倉山

板倉山のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで
板倉山のついでをきりてはる湯のつのもよひのついで

あまのす

巨房

足引のりやまの早まもつるやうはとんまはれ
○石山橋

重之集

かぐれつやほるる石山のゆかつこめうづん
川長徳集あま十七石山まきしめ
明玉

あつつうづんねのりまきしめ石山の
赤徳集あま系に輝る石山まきしめ

あつつうづんねのりまきしめ石山の
あつつうづんねのりまきしめ石山の

あつつうづんねのりまきしめ石山の
あつつうづんねのりまきしめ石山の

○石根山也 近江

あまのす

俊成

あまのすあまのすあまのすあまのす
あまのすあまのすあまのすあまのす

あまのすあまのすあまのすあまのす
あまのすあまのすあまのすあまのす

あまのすあまのすあまのすあまのす
あまのすあまのすあまのすあまのす

あまのすあまのすあまのすあまのす
あまのすあまのすあまのすあまのす

あまのすあまのすあまのすあまのす
あまのすあまのすあまのすあまのす

あまのすあまのすあまのすあまのす
あまのすあまのすあまのすあまのす

あまのすあまのすあまのすあまのす
あまのすあまのすあまのすあまのす

あまのすあまのすあまのすあまのす
あまのすあまのすあまのすあまのす

○伊香胡山 山脚海邊 近江

○ 他々 傳ハいう 傳

百葉八 皇合村

いふ山神一ノ味ハ 萩ノ山ノ名ヲ 傳ルル事ナリ

同十二 中 秋 畧 傳 者 名 傳

傳 者 名 傳 傳 者 名 傳 傳 者 名 傳

傳 者 名 傳 傳 者 名 傳 傳 者 名 傳

傳 者 名 傳 傳 者 名 傳 傳 者 名 傳

傳 者 名 傳 傳 者 名 傳 傳 者 名 傳

傳 者 名 傳 傳 者 名 傳 傳 者 名 傳

傳 者 名 傳 傳 者 名 傳 傳 者 名 傳

○ 石道山 追記

白鳥 追記 追記 追記 追記 追記 追記 追記 追記 追記 追記

○ 不知哉川 岡本天皇

追記 追記 追記 追記 追記 追記 追記 追記 追記 追記

大上 追記 追記 追記 追記 追記 追記 追記 追記 追記 追記

日本紀 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟

果安臣 執臣 此 率 救 万 衆 將 襲 不 破 而 軍 干 大 上 廣

大上 夫 本 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟

奇 枕 名 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟

奇 枕 名 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟 弟

丹集千首の中ふありては、
に、
ま、
ま、
ま、
ま、
ま、
ま、
ま、
ま、
ま、

丹集

ま、ま、ま、ま、

ま、ま、

ま、ま、ま、ま、

新物撰入れ、
此、
新、

岩田、
初、

伊、

借、

英、

右、

君、

大、

△

こゝにありて... 内大臣

六非五... 一條藤政

いふ... 明王

日名... 美濃

後... 藤原

吹... 山吹

吹... 山吹

又... 山吹

又... 山吹

又... 山吹

又... 山吹

又... 山吹

又... 山吹

又... 山吹

近江式土幡神社

信州他々より入つてくる山

万葉十八
かすまのりやうのりやう
あまのりやうのりやう
あまのりやうのりやう

石川
石川
石川
石川

万葉十九
かすまのりやうのりやう
あまのりやうのりやう
あまのりやうのりやう

石川
石川
石川
石川

万葉二十
かすまのりやうのりやう
あまのりやうのりやう
あまのりやうのりやう

石川
石川
石川
石川

万葉二十一
かすまのりやうのりやう
あまのりやうのりやう
あまのりやうのりやう

石川
石川
石川
石川

万葉二十二
かすまのりやうのりやう
あまのりやうのりやう
あまのりやうのりやう

石川
石川
石川
石川

万葉二十三
かすまのりやうのりやう
あまのりやうのりやう
あまのりやうのりやう

石川
石川
石川
石川

万葉二十四
かすまのりやうのりやう
あまのりやうのりやう
あまのりやうのりやう

石川
石川
石川
石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

石川

右伊弉册本... 戦之

一 雑 天智天皇

二 雑 天智天皇

三 雑 天智天皇

四 雑 天智天皇

五 雑 天智天皇

六 雑 天智天皇

七 雑 天智天皇

八 雑 天智天皇

九 雑 天智天皇

十 雑 天智天皇

但後日本紀中廿六六 古郡印南野云々

人丸

日六 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日七 赤人 和徳根

日八 稲日裏 女命等と又事十六十五御心

日九 作者未詳

日十 日 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日十一 日 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日十二 日 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日十三 日 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日十四 日 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日十五 日 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日十六 日 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日十七 日 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日十八 日 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日十九 日 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日二十 日 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日二十一 日 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日二十二 日 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日二十三 日 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日二十四 日 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日二十五 日 此いづらの海のおきつ信ふきおれぬ大

日

石川石の上の...の奥の...
 此の川...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...
 ...

播磨南郡

○楫原 氏名式小粒の字...
 楫原

○末本 氏名...
 末本

石家...
 石家

○末本 十二連...
 末本

松葉集...
 松葉集

○石山...
 石山

○山名田川...
 山名田川

○磯岡...
 磯岡

○山名田川...
 山名田川

○石山...
 石山

○末本 十二...
 末本

○山名田川...
 山名田川

○磯岡...
 磯岡

○山名田川...
 山名田川

○石山...
 石山

○末本 十二...
 末本

○山名田川...
 山名田川

○磯岡...
 磯岡

○山名田川...
 山名田川

○石山...
 石山

○末本 十二...
 末本

○山名田川...
 山名田川

○磯岡...
 磯岡

○山名田川...
 山名田川

伊波比...
 伊波比

磐代 皇族

百五十一

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

△三穂奇人
磐代 磐中皇命

磐代 皇族

百五十二

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

△平等寺
磐代 磐中皇命

磯浦

△三穂奇人
磐代 磐中皇命

△水傳の
磐代 磐中皇命

△みづの
磐代 磐中皇命

△七穂奇人
磐代 磐中皇命

△磐代 磐中皇命

△磐代 磐中皇命

やのけり
磐代 磐中皇命

あまの
磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命



磐代 磐中皇命

磐代 磐中皇命

はるの御言ふ山にんせし

百系四

美合村

おくれのしきつあつあつハ山のしせの山あ

日七

多系五

おほいなるおのふりしおのふりしおのふりし

日八

おほいなるおのふりしおのふりしおのふりし

日九

おほいなるおのふりしおのふりしおのふりし

日一〇

おほいなるおのふりしおのふりしおのふりし

日一一

おほいなるおのふりしおのふりしおのふりし

日一二

おほいなるおのふりしおのふりしおのふりし

春日藏首光

おほいなるおのふりしおのふりしおのふりし
 日七
 日八
 日九
 日一〇
 日一一
 日一二
 日一三
 日一四
 日一五
 日一六
 日一七
 日一八
 日一九
 日二〇
 日二一
 日二二
 日二三
 日二四
 日二五
 日二六
 日二七
 日二八
 日二九
 日三〇
 日三一
 日三二
 日三三
 日三四
 日三五
 日三六
 日三七
 日三八
 日三九
 日四〇
 日四一
 日四二
 日四三
 日四四
 日四五
 日四六
 日四七
 日四八
 日四九
 日五〇
 日五一
 日五二
 日五三
 日五四
 日五五
 日五六
 日五七
 日五八
 日五九
 日六〇
 日六一
 日六二
 日六三
 日六四
 日六五
 日六六
 日六七
 日六八
 日六九
 日七〇
 日七一
 日七二
 日七三
 日七四
 日七五
 日七六
 日七七
 日七八
 日七九
 日八〇
 日八一
 日八二
 日八三
 日八四
 日八五
 日八六
 日八七
 日八八
 日八九
 日九〇
 日九一
 日九二
 日九三
 日九四
 日九五
 日九六
 日九七
 日九八
 日九九
 日一〇〇

△塩安大和橋上印
△所也

今にこれのついでに
白木の板の文に書か
たものありて
右に記すに
左に記すに

お茶

人の神々々の杜りゆき
まはらば
あまの
お茶の
お茶の
お茶の

折鶴

お茶の
お茶の

お茶の
お茶の

お茶の
お茶の

お茶の
お茶の

お茶の
お茶の
お茶の

春日山四方和印
△所也
△塩安大和橋上印
△所也
△塩安大和橋上印
△所也
△塩安大和橋上印
△所也

お茶の山より
お茶の山より
お茶の山より

お茶の山より
お茶の山より
お茶の山より

お茶の山より
お茶の山より
お茶の山より

お茶の山より
お茶の山より
お茶の山より

お茶の山より
お茶の山より
お茶の山より

お茶の山より
お茶の山より
お茶の山より

お茶の山より
お茶の山より
お茶の山より

お茶の山より
お茶の山より
お茶の山より

そらや... 東の... 橋... 河... 橋

日三十一 仲心

ふ心... 橋... 橋... 橋

朝... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

橋... 橋... 橋... 橋

日十四

あけくさ 根の移りのに 葉をまじれや けしん

日 根のくさのの山は 粟やうらして ちぢれさあ

人丸葉 あけくさのくにむく 玉うけ 根の山のあけくさ

お様葉 けののくさのうら 根のゆきせし せむき

日 根の山ありけれ つきう 道のきりうら 葉をまじ

日 けのくさをまじれて 山のけり 葉をまじ

日 根のくさのまじりて けりうら 葉をまじ

日 根のくさのまじりて けりうら 葉をまじ

日 根のくさのまじりて けりうら 葉をまじ

日 根のくさのまじりて けりうら 葉をまじ

日 根のくさのまじりて けりうら 葉をまじ

六帖

秋の根の月をえ けりうら 葉をまじ

日 根の山ありけれ つきう 道のきりうら 葉をまじ

日 けのくさをまじれて 山のけり 葉をまじ

日 根のくさのまじりて けりうら 葉をまじ

日 根のくさのまじりて けりうら 葉をまじ

日 根のくさのまじりて けりうら 葉をまじ

日 根のくさのまじりて けりうら 葉をまじ

日 根のくさのまじりて けりうら 葉をまじ

日 根のくさのまじりて けりうら 葉をまじ

日 根のくさのまじりて けりうら 葉をまじ

日 根のくさのまじりて けりうら 葉をまじ

日 根のくさのまじりて けりうら 葉をまじ

今日 けあ松海がけありや梅の葉かき中にあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

原池

上節

針原 上節 或は松の葉をききけりてあし

離山池 松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

早史原 松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

八信井 松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

松の葉のふく吹松の葉をききけりてあし

高橋や子代の松本へ... 川... 世... 君...

あま... 松本... 松本... 松本... 松本...

か... 松本... 松本... 松本... 松本...

う... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

あ... 松本... 松本... 松本... 松本...

△西市 山城 社註見東平
△七新

○西川

山城 義孝
大和 丹生河上雨師神社曰
長皇子

○丹生川

延喜式吉野郡丹生河上雨師神社曰
長皇子

○西大寺

西大寺 長皇子

西大寺 長皇子

西大寺 長皇子

△爾爾浦 遠江 丹生 社註見東平
△七新

△丹生 社註見東平
△七新

○西大寺

西大寺 長皇子

○西大寺

西大寺 長皇子

○西大寺

西大寺 長皇子

○西大寺

西大寺 長皇子

○西大寺

西大寺 長皇子

○西大寺

西大寺 長皇子

△西市 山城 社註見東平
△七新

○二萬郷

佐中 下道郡

和名 延暦寺

天徳二年 唐申 唐介合

君の代り 人の里人 打ち立てる 寺の新跡

寺の代り 唐申 唐介合 寺の新跡 寺の新跡

保

山城

保の代り 山城 保の代り 山城

保の代り 山城 保の代り 山城

保の代り 山城 保の代り 山城

保の代り 山城 保の代り 山城

保の代り 山城 保の代り 山城

保の代り 山城 保の代り 山城

保の代り 山城 保の代り 山城

保の代り 山城 保の代り 山城

保の代り 山城 保の代り 山城

保の代り 山城 保の代り 山城

保の代り 山城 保の代り 山城

保の代り 山城 保の代り 山城

保の代り 山城 保の代り 山城

保の代り 山城 保の代り 山城

保の代り 山城 保の代り 山城

保の代り 山城 保の代り 山城

△平群山 大和 平群郡
△上 中野
△下 中野
△中野 中野

任吉の印にさす 何人亦の昔からあつて 今月の月記

○ 堀石の井

堀石の井 細言小井 ありの井

伊勢集

いそ 伊勢の井 ありの井 ありの井

○ 六帖二

六帖二 ありの井 ありの井

○ 徳を

徳を 神中 ありの井

徳を 神中 ありの井 ありの井

玉葉集

玉葉集 ありの井 ありの井

○ 尾石

尾石 ありの井 ありの井

○ 尾石

尾石 ありの井 ありの井

尾石 ありの井 ありの井

尾石

信度 ありの井 ありの井

○ 信

○ 止

○ 常磐

山 栗林

山 城

山 城

常磐山 ありの井 ありの井

○ 常磐

常磐山 ありの井 ありの井

常磐山 ありの井 ありの井

○ 常磐

常磐山 ありの井 ありの井

常磐山 ありの井 ありの井

常磐山 ありの井 ありの井

○ 常磐

常磐山 ありの井 ありの井

○ 常磐

常磐山 ありの井 ありの井

常盤山より... 常盤山より... 常盤山より...

その山... 接... 接... 接...

あま... 接... 接... 接...

あま... 接... 接... 接...

あま... 接... 接... 接...

あま... 接... 接... 接...

常盤山

常盤山より... 常盤山より... 常盤山より...

常盤山より... 常盤山より... 常盤山より...

常盤山より... 常盤山より... 常盤山より...

常盤山より... 常盤山より... 常盤山より...

常盤山より... 常盤山より... 常盤山より...

高麗のよきもの... 巨唐房
 名... 徳富集
 う... 山... 結...
 口廿二... 前... 他...
 口... 移... 他... 雄...
 秋... 西行... 山... 山...
 山... の... 下... 山... 山...
 鳥... 山... 山...
 山... の... 山... 山...
 山... の... 山... 山...

△山...
 △山...
 △山...
 △山...
 △山...

△山...
 △山...
 △山...

山... 山... 山... 山...
 山... の... 山... 山...
 山... の... 山... 山...
 山... の... 山... 山...
 山... の... 山... 山...
 山... の... 山... 山...

△山...
 △山...
 △山...

△山...
 △山...

山... の... 山... 山...
 山... の... 山... 山...
 山... の... 山... 山...

△敏馬 小田下押
此年六月廿三日
奇又下

△和播申 伊能の或を
予あや

△か比の 相模
編中奇

△鳥羽海 老津
編中奇

△遠智 近江播郡
△三津 近江

△利波 越前 砺波申
△十七 此王
△十八 多
△十九 多
△二十 多
△二十一 多
△二十二 多
△二十三 多
△二十四 多
△二十五 多
△二十六 多
△二十七 多
△二十八 多
△二十九 多
△三十 多

△利波 越前 砺波申
△十七 此王
△十八 多
△十九 多
△二十 多
△二十一 多
△二十二 多
△二十三 多
△二十四 多
△二十五 多
△二十六 多
△二十七 多
△二十八 多
△二十九 多
△三十 多

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

みよの 軍とてとられ山後ノのりやるゝ又そらつら

△西吉也
古事記云石ふま作らるる地也

△利根河
上野 利根郡

△百十四 赤崎
伊予 赤崎郡

△十 府浦
陸奥 府浦郡

△一字お
陸奥 一字お郡

△中 中
陸奥 中郡

△陸奥の 中
陸奥 中郡

△玉原子 玉原
陸奥 玉原郡

△坂百 坂百
陸奥 坂百郡

△坂百 坂百
陸奥 坂百郡

△坂百 坂百
陸奥 坂百郡

いふやうに... 豊浦 伝里

長門

○豊浦 伝里

つらき... ちの言 接人

○靴浦

伍伍

○ちの言 接人

靴の浦... 大之そ ちの言 接人

日十五

作者未詳

右ニ云 天平八年... 靴の浦

日七

靴の浦... 靴の浦

靴の浦... 靴の浦

靴の浦... 靴の浦

靴の浦... 靴の浦

△豊浦 伝里... △靴浦 伝里

△等里思 小呂宋
 △十四年
 ありきりていふと
 りくはれぬ心
 りくはれぬ心

△等里思 小呂宋
 ありきりていふと
 りくはれぬ心
 りくはれぬ心

△等里思 小呂宋
 ありきりていふと
 りくはれぬ心
 りくはれぬ心

△等里思 小呂宋
 ありきりていふと
 りくはれぬ心
 りくはれぬ心

百十四年
 ありきりていふと
 りくはれぬ心
 りくはれぬ心

△等里思 小呂宋
 ありきりていふと
 りくはれぬ心
 りくはれぬ心

△十道 日本伝用 和泉 七雜

△同 中世 勝地一覽二知行

△向土 人丸 勝地一覽二知行

△或 血活の海の音のいのか

△知 十尋濱

△柔 柔浦集

△知波野 下巻 十尋濱

△知具 海河 信伝

△千江 浦石見

△主 女 女

△知 知 知

△知 知 知

△知 知 知

△知 知 知

△知 知 知

Faint handwritten text on the right page, mostly illegible due to fading.

△智可岫 肥前 板橋中
五雜 千代
ちの言いよりちの言の
ていへばちの言のちの言

○竹生湯

追口

湯神社

あまのつらつら

あまのつらつら

信中

陸祐

あまのつらつら

○千代浦

あまのつらつら

あまのつらつら

あまのつらつら

あまのつらつら

○千代浦

あまのつらつら

あまのつらつら

あまのつらつら

あまのつらつら

○千代浦

あまのつらつら

あまのつらつら

あまのつらつら

あまのつらつら

あまのつらつら

あまのつらつら

あまのつらつら

あまのつらつら

あまのつらつら

あまのつらつら

あまのつらつら

あまのつらつら

○千年山川 仰時

丹波 桑田郡 松本

旅つた松の本をきくもやそや千年の山はあそん

ちまよふや昔はしる石のしるは深き夢のまね

口 後世拾遺 祐子内親王家合

西のこころのしるはる千年山をきくは例もあそん

日 百代 回院松本松本

我君のしるはるは千年川松本つるは例もあそん

日 勲 勲のしるはるは千年の山をきくは例もあそん

○値嘉浦 島岬

星のしるはるは千年の山をきくは例もあそん

伊津のしるはるは千年の山をきくは例もあそん

○龍門 赤性 ち和

名のしるはるは千年の山をきくは例もあそん

○奴 布引 松本

雲のしるはるは千年の山をきくは例もあそん

屋津集 赤性

紫のしるはるは千年の山をきくは例もあそん

坂下集 赤性

氷のしるはるは千年の山をきくは例もあそん

○布引 松本

氷のしるはるは千年の山をきくは例もあそん

氷のしるはるは千年の山をきくは例もあそん

△注 八河 未劫
△注 八河 未劫
△注 八河 未劫
△注 八河 未劫
△注 八河 未劫
△注 八河 未劫
△注 八河 未劫
△注 八河 未劫
△注 八河 未劫
△注 八河 未劫

河津入たふおち大庄

○潤八河 末節

秋柏 子系上 や河へあまのふふあひく

朝柏 拾遺五巻 やかろのふふあひてゆれ

交野 さや川の さや川あまのふふあひてゆれ

●留 ●遠 山城

○小野山 經仁 白家 お根信 山城

白家 お根信 山城

石原 お根信 山城

山城

同

野原 お根信 山城

野原 お根信 山城

野原 お根信 山城

野原 お根信 山城

野原 お根信 山城

野原 お根信 山城

野原 お根信 山城

野原 お根信 山城

野原 お根信 山城

とくしやのの松のつらさいこれ其の松をあらん

右の松と云ふ小倉山のついでに月を思ひそらん

君とていふは其の思ひをく山月を月とていふ

あはれ山ありわらやにそらのかへりのつらさを目こり

高遠集 高遠集 高遠集

小倉山下をのりて松とていふをふる松のついでに

とくしやのの松とていふをふる松のついでに

常丹集

とくしやのの松とていふをふる松のついでに

とくしやのの松とていふをふる松のついでに

とくしやのの松とていふをふる松のついでに

とくしやのの松とていふをふる松のついでに

とくしやのの松とていふをふる松のついでに

とくしやのの松とていふをふる松のついでに

とくしやのの松とていふをふる松のついでに

とくしやのの松とていふをふる松のついでに

とくしやのの松とていふをふる松のついでに

とくしやのの松とていふをふる松のついでに

とくしやのの松とていふをふる松のついでに

あま 作信

谷れ... 此部云... の山... の山

○小 佐伯

え浦集 佐伯... の山... 山

小 佐伯... の山... 山

小 佐伯... の山... 山

小 佐伯... の山... 山

小 佐伯... の山... 山

○小 倉山

△松 雑文

△倉第九作標 大和今城昔野郡

△節明天皇御前 △節明天皇第九雄略天皇

△小 倉山... の山... 山

△小 倉山... の山... 山

△小 倉山... の山... 山

△小 倉山... の山... 山

○小 倉山 松之川

△小 倉山... の山... 山

△思前 同多美和

△小 倉山 松之川

△小 倉山 松之川

△土着
ちりちりの指さりの
もれもけりしうゆい
るものさうらふ

△平守女 播磨
平守女 播磨
平守女 播磨

△於之成流宮 日本
於之成流宮 日本
於之成流宮 日本

△小島神 伊豫
小島神 伊豫
小島神 伊豫

△麻婆小田系
麻婆小田系
麻婆小田系

△小田陸奥
小田陸奥
小田陸奥

△新屋上師 或市
新屋上師 或市
新屋上師 或市

△石 壑
石 壑
石 壑

△塚 百首
塚 百首
塚 百首

△日 仲実
日 仲実
日 仲実

△六帖 三
六帖 三
六帖 三

△伊家の海
伊家の海
伊家の海

△日 廿一
日 廿一
日 廿一

△日 廿二
日 廿二
日 廿二

△鳴呼 又浦 後
鳴呼 又浦 後
鳴呼 又浦 後

△玉系 雜一
玉系 雜一
玉系 雜一

△浦 又
浦 又
浦 又

△右類 又
右類 又
右類 又

△下 又
下 又
下 又

△交 又
交 又
交 又

△草 菴 集
草 菴 集
草 菴 集

△小 菴 系
小 菴 系
小 菴 系

和豆香山 大和
三抄奇 ありき
白くすてわすし
つるの山田
大君が
つるの山田

あま 仲正
陸奥 碓氷の嶽 なるをくほのうそもろくを
日

修 小黒塚
をろくはあきとまをたをりしうろくをよすね

小黒塚 ぬまの嶽 ぬまの嶽
後人 不知

をろくはあきとまをたをりしうろくをよすね
小琴里 近江

あま 小琴里 丹波 与謝郡
今いよかきしうろくをよすね

雄鳥 尾上里 播磨
尾上里 紀伊

小島山 萬葉七

安らぬを小島山の山の標のをすくすく昔は
定島集

標のをすくすく昔のりまねねねん
尾上里

又標のをすくすく昔のりまねねねん
尾上里

尾上里 尾上里
尾上里

尾上里 尾上里
尾上里

和 尾上里
尾上里

尾上里 尾上里
尾上里

尾上里 尾上里
尾上里

我新の... 秋... の... の... の...

流れ... 流... の...

△吾原... 志井... 古定に

△和乎... 涼... 志井の水

△和射... 涼... 志井の水

△和... 涼... 志井の水

△和... 涼... 志井の水

△和... 涼... 志井の水

△和... 涼... 志井の水

同十二... 日

△の浦... 日

△の浦... 日

△の浦... 日

△の浦... 日

△の浦... 日

△の浦... 日

△の浦... 日

なせりやの川をさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

赤松茶

十月

十日

十日

十日

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

みよきもの川はさへて入るる心あはれ

かしのう根の...
あまの...
かしのう根の...
あまの...

かしのう根の...
あまの...
かしのう根の...
あまの...

かしのう根の...
あまの...
かしのう根の...
あまの...

かしのう根の...
あまの...
かしのう根の...
あまの...

かしのう根の...
あまの...
かしのう根の...
あまの...

かしのう根の...
あまの...
かしのう根の...
あまの...

かしのう根の...
あまの...
かしのう根の...
あまの...

かしのう根の...
あまの...
かしのう根の...
あまの...

△神楽良小所下

神楽良小所下

△可念波田井小下

可念波田井小下

△檀原

檀原

△神

神

△山

山

△水

水

神楽良小所下
神楽良小所下
神楽良小所下
神楽良小所下

可念波田井小下
可念波田井小下
可念波田井小下
可念波田井小下

檀原
檀原
檀原
檀原

神
神
神
神

山
山
山
山

水
水
水
水

なる田の茶 ぼ成る入道

のりくろくしん 忌のちをきくしん しのしん

忌のちをきくしん しのしん しのしん

○**神園** 山陣 高家

かよこころ しのしんの しのしんの しのしんの

ふんれつ しのしんの しのしんの しのしんの

○**龜山** 日

ら菜搦やん しのしんの しのしんの しのしんの

龜山ろくしん しのしんの しのしんの しのしんの

かたのしん しのしんの しのしんの しのしんの

れろくしん しのしんの しのしんの しのしんの

日 しのしんの しのしんの しのしんの しのしんの

龜山の子 しのしんの しのしんの しのしんの

六正三 しのしんの しのしんの しのしんの

大井川 しのしんの しのしんの しのしんの

あま しのしんの しのしんの しのしんの

かた しのしんの しのしんの しのしんの

はの しのしんの しのしんの しのしんの

けあ しのしんの しのしんの しのしんの

あま しのしんの しのしんの しのしんの

あま しのしんの しのしんの しのしんの

あま しのしんの しのしんの しのしんの

山口
君代々安の尻らよまの尻のを家よりや安の尻

○河合

山作
雍列府志云云中川水原山自ら獲國大系
八瀬過層山林麻おるや村依號云云川行
川筋紀杜南合流故紀杜謂河合

○五月二十一日

五月二十一日
五月二十一日
五月二十一日

○笠原山

笠原山
笠原山
笠原山

笠原山
笠原山
笠原山

笠原山
笠原山
笠原山

笠原山
笠原山
笠原山

笠原山
笠原山
笠原山

○土佐

土佐
土佐
土佐

土佐
土佐
土佐

土佐
土佐
土佐

○土佐

土佐
土佐
土佐

土佐
土佐
土佐

○土佐

土佐
土佐
土佐

土佐
土佐
土佐

土佐
土佐
土佐

土佐
土佐
土佐

白
...
...
...
...
...
...
...
...

源本抄
...
...
...
...
...
...
...
...

元補集
...
...
...
...
...
...
...
...

つよの...
...
...
...
...
...
...
...

杉墓集
...
...
...
...
...
...
...
...

柳川...
...
...
...
...
...
...
...

伊勢...
...
...
...
...
...
...
...

あ...
...
...
...
...
...
...
...

月...
...
...
...
...
...
...
...

念家

...
...
...
...
...
...
...
...

あ...
...
...
...
...
...
...
...

月...
...
...
...
...
...
...
...

あ...
...
...
...
...
...
...
...

あ...
...
...
...
...
...
...
...

○ 望置 窟山寺

松...
...
...
...
...
...
...
...

好忠集

あ...
...
...
...
...
...
...
...

あ...
...

建仁元年

あ...
...
...
...
...
...
...
...

長秋

あ...
...
...
...
...
...
...
...

壬二集

後人の後の家ありあけりかきつゝの山のほろあさいい

○紙屋川
あけりかきつゝの山のほろあさいい

○麻津山
ほろあさいい

山よりあけりかきつゝの山のほろあさいい

○日
あけりかきつゝの山のほろあさいい

あけりかきつゝの山のほろあさいい

○神楽園
あけりかきつゝの山のほろあさいい

春日祭 祝詞 麻鳩坐健所賢巨智命番取
坐伊波比之命枝園坐天之子八根命比賣神
四柱神 皇神等 能廣前仁白久太神等 能乞

賜任尔春日 三笠山 能下津石根尔 宮柱廣知立云之

○夫
神楽園 懐中 懐中人

○春日
神楽園 懐中 懐中人

△大和添上郡 福山ノ寺 能知立云之

○六
流布 本編 流布 本編

○お
お 撫集 撫集

○新
新 撰 撰

○君
君 撰 撰

○あ
あ 撰 撰

○あ
あ 撰 撰

わよち〜おてぬ〜
たの〜れ〜あ〜

あき〜し〜
あ〜あ〜あ〜

あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜

あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜

あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜

あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜

あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜

赤澤集

あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜

あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜

赤澤集

あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜

あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜

あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜

あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜

あ〜あ〜あ〜
あ〜あ〜あ〜

あ〜あ〜あ〜

あまのふ二

諸人不知

此年三月京極伊勢守の命

あまのふ二の年三月京極伊勢守の命

あまのふ二の年三月京極伊勢守の命

あまのふ二の年三月京極伊勢守の命

あまのふ二の年三月京極伊勢守の命

あまのふ二の年三月京極伊勢守の命

あまのふ二の年三月京極伊勢守の命

あまのふ二の年三月京極伊勢守の命

あまのふ二の年三月京極伊勢守の命

あまのふ二の年三月京極伊勢守の命

あまのふ二の年三月京極伊勢守の命

新基集

あまのふ二の年三月京極伊勢守の命

あまのふ二

あまのふ二の年三月京極伊勢守の命

神中抄八 奥多抄追考六

あまのふ二の年三月京極伊勢守の命

あまのふ二の年三月京極伊勢守の命

あまのふ二の年三月京極伊勢守の命

あまのふ二の年三月京極伊勢守の命

又

わらわ

しらべのうらひさし
あな

はなはな
日

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

あま

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

しらべのうらひさし
あな

六帖

その日のあきらむくしうたひにたむかしの枝をみたり

神宮のあきらむくしうたひにたむかしの枝をみたり

まきとてたむかしの枝をみたり

まきとて

ちりり

延喜十三年九月陽成院命合侍物

神宮のあきらむくしうたひにたむかしの枝をみたり

軽

大和守市郡

百五十二

人丸

天孫やみりての枝をみたり

その日のあきらむくしうたひにたむかしの枝をみたり

十一

延喜十三年九月陽成院命合侍物

その日のあきらむくしうたひにたむかしの枝をみたり

片足

大和守市郡

その日のあきらむくしうたひにたむかしの枝をみたり

その日のあきらむくしうたひにたむかしの枝をみたり

その日のあきらむくしうたひにたむかしの枝をみたり

その日のあきらむくしうたひにたむかしの枝をみたり

中務集

その日のあきらむくしうたひにたむかしの枝をみたり

その日のあきらむくしうたひにたむかしの枝をみたり

神代山百枝の松のふもとに産とれたいよ君とさうりくる

身うりて思をそと針代山百枝の松のふもとに産とれたいよ

貫之集

かいつの松の枝は年ぬる君もたふさふさけふとさうりくる

かいつの山里にれは草一らの命をいふくさす

信はたむる花のあはれいよよとれるあはれん

かいつの松の枝は年ぬる君もたふさふさけふとさうりくる

かいつの山里にれは草一らの命をいふくさす

かいつの松の枝は年ぬる君もたふさふさけふとさうりくる

かいつの山里にれは草一らの命をいふくさす

金壽
いふくさす
かいつの松の枝は年ぬる君もたふさふさけふとさうりくる

△カミタ
孝子のあはれいよよとれるあはれん

保倉やまの松のふもとに産とれたいよ君とさうりくる

保倉やまの山里にれは草一らの命をいふくさす

保倉やまの松の枝は年ぬる君もたふさふさけふとさうりくる

保倉やまの山里にれは草一らの命をいふくさす

保倉やまの松の枝は年ぬる君もたふさふさけふとさうりくる

保倉やまの山里にれは草一らの命をいふくさす

保倉やまの松の枝は年ぬる君もたふさふさけふとさうりくる

保倉やまの山里にれは草一らの命をいふくさす

保倉やまの松の枝は年ぬる君もたふさふさけふとさうりくる

保倉やまの山里にれは草一らの命をいふくさす

保倉やまの松の枝は年ぬる君もたふさふさけふとさうりくる

保倉やまの山里にれは草一らの命をいふくさす

四條の夜... 手紙... 風早の目...

△金太郎... 風早の目... 手紙...

つらつら... 風早の目... 手紙...

麻嶋のや... 風早の目... 手紙...

竹のや... 風早の目... 手紙...

△金太郎... 風早の目... 手紙...

△金太郎... 風早の目... 手紙...

△金太郎... 風早の目... 手紙...

△金太郎... 風早の目... 手紙...

△金太郎... 風早の目... 手紙...

△金太郎... 風早の目... 手紙...

日

康平二年三月... 日

日

康平二年三月... 日

日

康平二年三月... 日

日

康平二年三月... 日

日

康平二年三月... 日

日

康平二年三月... 日

日

康平二年三月... 日

三浦氏
 のいふことばは
 なるはうとせよ

日十三
 徳徳部位光
 ねんらうとせよいのこつし
 一 人丸
 今頃の三の幸海こぶとあれとまゝのあやう
 の信やまのうつゆふふあやふく
 ねんらう
 あまの海らうとせよ
 後山
 一 山傳又あふかり
 一条 ちゆ言部子
 ねんらう
 ねんらうのちうらうなふとせよ
 ねんらう
 こころとこつ後山のこころとせよ
 ねんらう
 今頃の三の幸海こぶとあれとまゝのあやう
 ねんらう
 ねんらう

三浦氏
 のいふことばは
 なるはうとせよ

日十三
 徳徳部位光
 ねんらうとせよいのこつし
 一 人丸
 今頃の三の幸海こぶとあれとまゝのあやう
 の信やまのうつゆふふあやふく
 ねんらう
 あまの海らうとせよ
 後山
 一 山傳又あふかり
 一条 ちゆ言部子
 ねんらう
 ねんらうのちうらうなふとせよ
 ねんらう
 こころとこつ後山のこころとせよ
 ねんらう
 今頃の三の幸海こぶとあれとまゝのあやう
 ねんらう
 ねんらう

まうしほくたんと後山其のりりし月くも

○皇田

近江

雲のゆく皇田のあやささしや新しきあはれ海大

いづしそらあはれ近江のりりし田あはれはるはる

くすくすいづらあはれ田の後きめあはれささしきさる海大

うあれてあはれあはれのりりしあはれささしきさる海大

おのりりし田のあはれささしきさる海大

あはれささしきさる海大

あはれささしきさる海大

あはれささしきさる海大

浦生

日 日
あはれささしきさる海大

あはれささしきさる海大

あはれささしきさる海大

あはれささしきさる海大

あはれささしきさる海大

あはれささしきさる海大

あはれささしきさる海大

あはれささしきさる海大

△三枕 里人
△七枕
右の字は物類記に在り
左の字は八甲御抄に在り

御草子古行

風下し草子古行 砂のまきまき 麻衣子古行

あま

あまの山 山家集

あまの山 山家集

可保夜泊

可保夜泊 上野

端山

端山 山家集

梅衣

梅衣 山家集

新恒集

新恒集 山家集

中務集

中務集 山家集

梅の集

梅の集 山家集

梅の集

梅の集 山家集

梅の集

梅の集 山家集

梅の集

梅の集 山家集

梅の集

梅の集 山家集

梅の集

梅の集 山家集

梅の集

梅の集 山家集

梅の集

梅の集 山家集

梅の集

梅の集 山家集

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

金山 陸奥市

△新嘉坡石見
△三浦
△可良能浦の石見

△鴨山
△三浦

△可良能浦の石見
△三浦

あまふち三
可良能
新嘉坡
紀十四舟後四浦海水
原位丹後港
新六
千首
自
古
奉
荷
徳

あまふち三
可良能
新嘉坡
紀十四舟後四浦海水
原位丹後港
新六
千首
自
古
奉
荷
徳

あまふち三
可良能
新嘉坡
紀十四舟後四浦海水
原位丹後港
新六
千首
自
古
奉
荷
徳

あまふち三
可良能
新嘉坡
紀十四舟後四浦海水
原位丹後港
新六
千首
自
古
奉
荷
徳

△可良能浦の石見
△三浦

△鴨山
△三浦

△可良能浦の石見
△三浦

△鴨山
△三浦

△可良能浦の石見
△三浦

あまふち三
可良能
新嘉坡
紀十四舟後四浦海水
原位丹後港
新六
千首
自
古
奉
荷
徳

あまふち三
可良能
新嘉坡
紀十四舟後四浦海水
原位丹後港
新六
千首
自
古
奉
荷
徳

あまふち三
可良能
新嘉坡
紀十四舟後四浦海水
原位丹後港
新六
千首
自
古
奉
荷
徳

あまふち三
可良能
新嘉坡
紀十四舟後四浦海水
原位丹後港
新六
千首
自
古
奉
荷
徳

あまふち三
可良能
新嘉坡
紀十四舟後四浦海水
原位丹後港
新六
千首
自
古
奉
荷
徳

あまふち三
可良能
新嘉坡
紀十四舟後四浦海水
原位丹後港
新六
千首
自
古
奉
荷
徳

日
行向しなる家久一香雅信ありけり人

あまあそふ
少くしてあふむしりあふえのひのこ

か
か
か
か
か

か
か
か
か
か

か
か
か
か
か

か
か
か
か
か

か
か
か
か
か

か
か
か
か
か

か
か
か
か
か

か
か
か
か
か

か
か
か
か
か

か
か
か
か
か

か
か
か
か
か

か
か
か
か
か

か
か
か
か
か

か
か
か
か
か

△可之布江口

△朝泊日

△可也山 日槽屋郡

△鏡山 曹前田河部

△可也山 日槽屋郡

△鏡山 曹前田河部

△可也山 日槽屋郡

△鏡山 曹前田河部

△可也山 日槽屋郡

△鏡山 曹前田河部

△可也山 日槽屋郡

△鏡山 曹前田河部

△可也山 日槽屋郡

△鏡山 曹前田河部

△可也山 日槽屋郡

△鏡山 曹前田河部

△可也山 日槽屋郡

△鏡山 曹前田河部

△可也山 日槽屋郡

△鏡山 曹前田河部

△可也山 日槽屋郡

△神御返日宗 或云此宗

神御返日宗 或云此宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗

△隱處澤日宗

隱處澤日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗

△雁羽山日宗

雁羽山日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗

△神後日宗

神後日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗

△可年日宗

可年日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗

△可年日宗

可年日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗

△可年日宗

可年日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗

△可年日宗

可年日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗

△可年日宗

可年日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗

△可年日宗

可年日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗

△可年日宗

可年日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗

△可年日宗

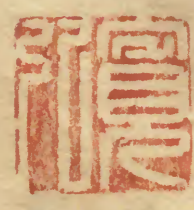
可年日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗

△可年日宗

可年日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗

△可年日宗

可年日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗 此宗の御返日宗



Blank page with faint bleed-through from the reverse side.

Blank page with faint bleed-through from the reverse side.

泊河合藏

411



